

戦時監禁中には、無為に過ごす事なく、何事かと
 押し込むと許す範囲に於ける読書、瞑想又は
 反省に力めつゝあると信ずるのにか、今回の移動
 に直面し、心の動揺は倒れ抑へ難きものがある。
 自來斯く平時と欠く一日々のと違へた事は、此か
 初めてだ。況や家族と残してゐる他の諸君
 の不安と憤りは想像に外である。而も先づ通
 知を厳禁せしめ立て追ひ立てに於ては、
 家族の退去実施を控へ悲痛といはんが惨状
 と呼ばうが敢て筆に現はす業と知らぬのである。

午後基督教派では十九日会で、信者のため
 送別祈禱会がなされた。

April 8日(水)

天気晴朗にて春日露ら、初夏の気萬象に張り、
 戦乱と外にホ鳥の啼り、早午より囚人の夢と破る。

最近The Oregonian紙に掲載されてゐた、全米内に
 於ける兵營所在地/圖解によると、Oklahoma 州の
 Fort Sillとは五千人以上の駐営兵と有する旅団が
 師団である事が想像できる。

この夜迄に各負荷造りを終へ引渡に就つた。Army
 bagと注文した荷箱と、Laundry bagが多数
 入荷あり。一個六十五仙也で手に入、グラブ等
 は靴に履き back robe 等を入れる。他は hand grip と
 Suit case だ。汽車中の入用品と収める為の箱島

211

章史君の overall の古片を次でみえお信玄袋を
造って呉れり。濃の頃の不意裁を物ばかり、絶好
の記念品でもある。

午後十九分會で釋尊降誕祭の頃の簡幸に
報りせり。

野村大使
寄贈見舞

夕食は 野村大使寄贈の諸材料で、大変と
昨食の作馳走だった。又スペイン公使と輕の同
大使寄贈のケーキが一罐宛各宛に分配せり。

昨日より各員は家族に宛、移動通知の電報を
送る事頻繁である。

一昨夜は誰れもが殆ど一睡もいかなかった様子で、平
夜用便に起きると者が引き切りあったが昨夜は精に
落着きを見せりとの、荷を出した後の室内は、いかにも
物淋しく又諸君の顔色も深き憂は拂拭できぬ。

手代は検査官の異常な努力により、移動者迄のもの
は特別扱いを以て他の者より早く手交せらるゝあ
る。

他の舎員から記念帳に署名を求め来るもの續々
とある。

伊藤君は突如移動者から免除され、尚ほ
滞電の上、洗濯場に働かぬ命に接せりといふ。
同じ洗濯所の他の諸君は其等しく同様の事が
移動中止の命を受けりとは、一同が頗る異存に感
ずるのである。約一千名の館に Chef として今日迄
終始した武蔵(龍村)君への、移動者中に

112

ある。市の方針は了解に因むとは異に同音の観測でもある。

田岡氏が此に下混雑視し、一人事然として人のためか自分家のためか income tax 報告書に記入される力めてゐるのは異変中の異彩とも言へる。

April 9日 (木)

荷物は昨日正午迄に於て市の方針を済し運送に資するやうに成つてゐるのだが、殆ど昨日中には其手續を終了してゐる。受取所には table を設け、数名のガードが逐一検査するのだが、市所に持ち込まれる物は、搬入或は搬出の際には既に検査済に成つてゐるだけ。今回の調べは甚だ簡単なるものである。見ると truck 等を打ち廻さへあかしの大量荷物である如く挙げる。此等は検査後、直に truck で汽車へ積み込まれてゐた。やがて全員の現金は Penny 共全額を同じ金額に手交し各自の金額が記入され軍部の手許へ一度預けられる。

又食後、午後六時半食堂で移動員諸君の送別会が催された。卓上にはソーダ水が一軒配布され、之によって乾杯を上げたが悲壯の感に打たれざるを得ない。今回の移動に當り現市長田岡氏外数名の役員も加はるので、改選がりはれたのであつたが、此席で新役員の紹介